

# 二人のセールスマン

## 「思考様式」のチェンジが 成功への道を開く！

「もう、辞めさせて下さい…」  
アフリカで悪戦苦闘を味わったあるセールスマンは、本国に戻り、うなだれて辞表を提出しました。競争の激しい西洋社会を離れ、アフリカのへき地にやってきたのは、数ヶ月前のこと。ここなら、ライバル会社に邪魔されずに靴のセールスができるだろうと、最初は乗り気で引き受けた仕事でした。

ところが、現地に到着してみると、驚いたことに殆どの人が靴など履いていません。裸足で歩くのが当たり前で、誰も靴に興味はありません。それでも何とか頑張ってみました。どんなに優れた靴かを説明しても、相手にはチンプンカンプン。関心を引くことすらできません。彼は辞表を出しながら上司にこう言いました。

「そこでは、誰も靴を履かないのです。」

そこで、会社は別のセールスマンを同じ村に派遣しました。すると、そのセールスマンは、到着するなりこう報告してきたのです。

「ここでは、誰もが靴を必要としています！」

彼は、それまで靴を履かなかった人たちにどうアプローチしたらいいのかを知るために、現地の文化や人々のことを熱心に学び、そこでのセールスに成功したのです。

## 思考様式のチェンジは必須！

さて、これは笑い話のようでもありますが、大切な要点についています。同じ状況でも、異なる思考様式が異なる結果をもたらしたのです。

では、「思考様式」とは何でしょう？ それは、人の行動や観点を決めることになる一連の信条や考え方です。あなたの物事の見方、心のもちよう、何を考え信じるかが、あなたの行動を左右します。この二人のセールスマンの話でも、最初の人は、状況を否定的に見るとする思考様式が彼の行動に影響を与え、辞表を出す結果となりました。しかし次の人は、プラスの思考様式を持っていたので、同じ状況の中に「限りない可能性」を見つけたのです。

成功するためには、妨げとなっているいかなるマイナスの思考様式をも捨て、代わりに、役に立つプラスの思考様式を取り入れることが鍵となります。思考様式が変われば、行動も変わるからです。否定的な思考は

その人の能力や意欲を妨げますが、肯定的に物事を見るようになると、人は、問題ではなく可能性を見ようになり、それが、意欲と熱意に満ちた行動を引き起こします。

このように、物事の見方や思考様式を変えることが成功につながったという例はたくさんあります。同時に、見方が固まってしまったがゆえに、成功していたのに最後にはすたれてしまったというケースもあります。つまり、成功する思考様式とは、特定の決まった考え方というわけではなく、肯定的で、時と状況に合わせた順応性のある考え方なのです。物事の進展やその時の必要に合わせて、やり方や見方を変えていくという柔軟性があるなら、それが新しい可能性を引き出します。

しかし、長年染み付いている自分の思考様式や行動様式を変えるのは、容易なことではありません。たぶん自分のしていることが失敗続きな

ら、思い切って何かを変える気にもなるかもしれませんが、今まである程度成功をおさめ、物事がうまく行っていた場合には、その思考様式を変えるのはもっと難しくなります。「今までこの考え方、このやり方でうまくやってきたのだから、これからだって、今のままで大丈夫さ」と考えるからです。

しかし、考慮すべきなのは、時代と情勢はいやがおうでも変わっていくということです。環境も人々も、家庭や子供たちでさえ、その成長と共にどんどん変わっていきます。それは人の力では止めることのできない流れのようなものです。

だから、今まではうまく行き、必要を満たしていた手段やアイデアでも、将来のニーズに対応できるとい保証はありません。子供も成長するにつれてサイズの大きな服を買わなければならないし、生物でも



脱皮して大きくなれないなら、小さな殻に閉じ込められて死んでしまうのと同じです。過去の方法に頼っているなら、どんなに努力しても効果は上がり、明日の状況では成功しないでしょう。

会社であっても、個人の生活であっても、子育てであっても、今までうまくいっていた方法や枠組みを変えなければならない時が来ます。その「変化の機」を見極め、良い方向にチェンジできるなら、物事は成長と進歩を続けますが、チェンジしないなら、物事は凝り固まり、古くなり、衰退が始まります。つまり、物事を変えなければならないのは、必ずしもそれまでの方法が失敗したからではなく、チェンジは、前進と成長のサイクルの一環であり、成功に必須のものだからなのです。

成功と失敗の違いは、「必要な時に変わるのをいとわない姿勢」にかかっているとされます。さて、ここで注意してほしいのは、「必要な時に」ということです。何でもかんでも変え続け、ただ時流に乗ることがゴールではないからです。何時、何を、どのように変え、何を变える必要がないかを正しく判断することこそが、真に価値ある変化をもたらします。

そして、判断するにあたって最も賢い方法とは、真の全体像を知り、状況だけではなく人の心を誰よりも理解している神に祈り、知恵を求めることです。そのようにして、変化と新しいものに対する柔軟性やオープンな気持ちを持ち、常により良い方法を探し求めているなら、あなたは成功に向かっているのです。

## アップグレードする勇氣

とはいうものの、チェンジを受け入れるのは人間にとって容易ではありません。安定を求めるのが人間性の一部だからです。しかし、惰性で物事は成功しません。

では、どうやったら思考様式や行動様式を変えることができるのでしょうか？

それは、長年使っていたコンピューターをアップグレードするために、プログラムを入れ替えて、新しく設定し直すのと似ています。それをするには、今までしていたことを一時止めて、新しい計画を練り、時間と労力をかけて、設定し直さなくてはなりません。新しいプログラムの使い方を覚え、新しい設定に慣れるのにも時間がかかることでしょう。でも、それをする価値はあります。

一度勇氣を持って、新しいプログラムに変えるなら、もっと便利で、簡単に、現在のニーズに合った方法で仕事ができるようになるからです。

## 蝶のように

ところが、人間の思考や行動は、機械のように簡単には変わりません。「何度決意しても、どうしても否定的な考え方になってしまうし、慌てた行動様式になってしまう・・・」というように、自分自身を変えようとして苦勞している人は多いのではないのでしょうか？

そんな時にはぜひ、神に助けをを求めることを忘れないで下さい。自分の力で自分を変えることができなくても、神は、奇跡を行う聖霊の力によってあなたを変えることができます。神こそあなたを造られた方なので、神はあなたが成長するのにも助けて下さいます。

芋虫や毛虫を見て、すぐさま空を飛ぶ美しい蝶を想像する人は少ないでしょうが、蝶も最初は地を這いつくばっていました。同じように、今あなたがどんな状態であっても、神は人を成長させ、変貌させることができます。

時には、成長の過程で、まるでサナギになる時のように、すべてが終わりになってしまったかのように見えることもあるでしょう。しかし、それこそ蝶になるための準備期間かもしれません。

新しい思考様式や行動様式を身につけるためには、古い自分に対して死ななければなりません。その時期を通過するには、信仰が必要です。これは死ではなく、新しいものに生まれ変わるための過程なのだという信仰が、それがあんなら、どんなに暗い時期でも、しっかりしたビジョンを持って生き、将来は新しい思考と行動様式をもって空を舞うことができるようになるのです。

